

つばさ新聞

新人職員紹介

医師

西田 裕子
スナール 医療従事者



今までも在宅医療に関わってきましたが、もっと深く在宅医療に関わりた
と思い、転職しました。しっかり勉強して、患者さんが住み慣れた自宅や施設
で穏やかに過ごせるように、ご家族の方が笑顔で介護ができるようにお手
伝いが出来たらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

メディカルアシスタント

高橋 正生
奥平 正生
(奥にラーメン)



緑の下の力持ちと呼ば
れるように精進します。

看護師

矢吹 頼子
アニス



まだまだわからないことだ
らけですが、つばさクリ
ニックを選んでよかったと思
っていただけるような関わり
ができたと思います。
よろしくお願いいたします。

在宅生活をサポートする 医療・介護サービスのご紹介

訪問リハビリテーション 理学療法士



グッドライフ指定訪問看護ステーション 高木 千草



グッドライフ指定訪問看護ステーションで、リハビリを担当し
ている理学療法士の高木と申します。利用者様がご自宅で穏やか
に日常生活を送ることを目標にサポートさせて頂いています。

リハビリの主な内容は、起居動作や歩行などの基本動作訓練、食事や排せつなどのADL訓
練、また疼痛緩和などに対してもアプローチを行います。ご自宅でリハビリを実施出来ること
のメリットは、直接生活環境を見ることでよりの確なアプローチが出来る事、ご家族の介護環
境に関するアドバイスが出来ることです。また寝たきりの方や心身機能の状態から、通所リハ
ビリなどの利用が難しい方でも、自宅にいながらリハビリを行うことが出来ます。

訪問リハビリは、利用者様とセラピストが1対1で実施する事が出来るため、「困っているこ
と」や「こういうことがしたい」というニーズは勿論、不安なことや嬉しかったことなど様々
な気持ちを話しをしていただきます。様々なニーズに合わせたリハビリを行いながら、1対1
でのふれあいが出来る事がとても楽しく、私のやりがいとなっています。

これからも訪問リハビリを通して、利用者様の
身体機能の維持・改善に加え、精神面に対しても
お力になれるよう努めていきたいと思っております。

グッドライフ指定訪問看護ステーション
〒701-1152 岡山市北区津高 696-2
電話番号：086-898-2331

つばさクリニック つばさクリニック岡山
定期訪問 午前9時～午後5時 緊急往診 24時間対応
診療科目 訪問診療・内科
循環器科・呼吸器科・整形外科
〒710-0047
岡山県倉敷市大島534-1
TEL 086-424-0283
HP: www.tsubasa-clinic.net

診療科目 訪問診療・内科・小児科
〒700-0026
岡山県岡山市北区奉通町1-7-7
TEL 086-254-0283
www.tsubasa-okayama.net

理事長のコメント

暑さも去り、秋らしい気候になってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
依然として、デルタ株・緊急事態宣言・まん延防止等重点措置（まん防）と、このキー
ワードを耳にしない日はありません。これまでも、様々な感染対策を徹底し続けていま
すが、なかなか晴れ間の見えない、悩ましい状況が続いています。

そのような中、この夏には、良い刺激をスタッフの息子さんからいただきました。山陽
新聞の子供記者に選ばれたとの事で、当院を取材に来ました。「なんでお医者さんになっ
たのですか?」、「どうしたら良いお医者さんになれるか?」などの質問を受け、今の自分
を形成するうえで欠かせなかった子供のころの経験や、研修医時代のことを思い出す機会
になりました。

初心を忘れず、このような状況の中でも、医療者として何をすべきか、常に考えながら
日々の活動に取り組んでまいります。
(医療法人つばさ 理事長 中村 幸伸)

新型コロナウイルス対策にご協力ください

感染拡大防止 へのご協力をお願いします
感染力が強い変異株にも、基本的な感染予防策が有効です。「マスクの着用」や「手洗い」、「3密(密接・密集・密閉)回避」などを徹底してください。

正しく使おうマスク!

正しい着用方法

- 鼻の裏に合わせずきつめをきく
- あご下まで伸ばし鼻にすきつめをきく

会話時は必ず着用!

鼻出しマスク× 顔こマスク× かけたが外側を触らない
口を密閉して密閉 鼻漏れを防ぐが、できれば不織布を

**こまめにしよう
手洗い・手指消毒!**

こんなタイミングでは必ず!

- 共用物に触った後
- 食事の前
- 公共交通機関の利用後 など

ポイント

指先・手の指・手の間や手首も
忘れずに洗いましょう!

目指そうゼロ密!

一つの密でも避けましょう!!

- 密接 マスクなし× 大声×
- 密集 大人数× 近距離×
- 密閉 換気が悪い× 狭い×



想いでエピソード

つばさクリニック 医師 三宅 剛司

今回ご紹介させていただくのは、80歳代のご夫婦のお話です。がん末期の奥さんと認知症のご主人とのお二人暮らしでした。

初診時から、奥さんは身体の所々にがんによる痛みがあり、ご自身の生活を営むことが精一杯でした。ご主人は、笑顔が素敵な温厚な方ですが、認知症のため短期記憶は困難で、日常的にトイレの失敗がありました。

奥さんは、毎日の家事とご主人の介護を両立されており、身体的にも精神的にも負担は限界と思われました。

息子さんとご相談し、まずは奥さんの体調を考え、一定期間、ご主人にショートステイを利用いただく事となりました。ケアマネージャーと相談し、ご自宅から近い施設を選択し、ご主人にも何とかご理解いただきました。けれども、入所後まもなく、ご主人は家に帰りたいと毎日奥さんに電話をかけ、奥さんは介護が大変だけれどご主人が傍に居ないと気になって寝ることもできないとの事で、急遽お二人での自宅療養を再開することとなりました。そのため息子さんご家族にも療養のサポートを頂く事となりました。奥さんの病状は日に日に進行し、在宅酸素も必要となり、家事をすることも困難となりました。それでも庭の水やりや料理は出来るだけ続けられました。訪問の際に、縁側で倒れている所を見つけ、急いで担いでベッドに移動する事もありました。それでも奥さんは、これまで続けてきた家事やご主人の介護を最期までやり遂げたいとの強い思いをお持ちでした。またそういった時間が唯一自分の病気から離れることができると仰っていました。当初から、私を含めた周囲は、認知症があるご主人が、病状が悪化する奥さんの状態を受容できず、混乱をきたしてしまうのではないかと、心配をしていました。しかし、それは杞憂でした。奥さんが自身でシャワーを浴びられなくなった時にはご主人が手伝い、背中を洗ってあげていました。奥さんは「主人がこんなに優しくしてくれたのは初めてだ」と恥ずかしながら笑ってお話くださいました。昏睡状態となった際には、診察の場面でもご主人は常に奥さんの痛い部分をさすってあげていました。療養期間は想定よりも長期間となりましたが、ご親族のご協力もいただきながら、最期には沢山の方々に見守られ、お別れに涙するご主人の傍らで、静かに奥さんは旅立たれました。

現在のコロナ禍では、入院すると面会が難しい状況のため、様々な課題を抱えながらも、何とかご自宅での療養を希望されて当院にご依頼をいただく事が多くなりました。患者さんや御家族の思いを尊重し、よりよい自宅療養に繋がるように、私自身も努力を続けたいと思います。



Dr. 岡田の南極物語リターンズ



第6回：ドームふじ基地で年越し

3週間にわたる氷床コア掘削作業が終了し、撤収作業を終えたドーム隊は、12月31日にキャンプ地から50km離れたドームふじ基地に移動しました。夜には無事に観測作業が終了したことを祝い、テント内で盛大に年越しパーティーを行いました。(写真①②)。翌日(2019年1月1日)の午前中は休養となったため、基地の看板前で記念写真を撮影したり、三線の演奏をしたり、ドームふじ基地最終日を満喫しました(写真③)。また衛星(イリジウム)電話で2カ月ぶりに家族と話をすることができました。日本から1万5000km離れた南極で、子供たちの元気な声を聞き、ジーンとしてしまいました。午後からは帰路の準備を整え、1月2日の朝、全員で記念撮影を行い(写真④)ドーム基地を後にしました。昭和基地まで1000kmの距離。道のりはまだまだ長いですが、いよいよ復路に突入です。



(写真①)



(写真②)



(写真③)



(写真④)



つばさの食支援探訪



管理栄養士 守屋 敦子

栄養補助食品をご存じでしょうか？

簡単に説明すると、「少しの量で沢山の栄養が摂れる、不足している栄養素を補うための食品」です。一般的にはエネルギー(カロリーともいいます)やタンパク質など体に必要な栄養が豊富に配合されていて食事だけでは不足しやすい栄養素と一緒に摂ることができます。「最近食事量が減ってきた」「手軽に栄養が摂りたい」そんな時に役立ちます。ドリンクタイプやゼリータイプなどの商品が多数ありドラッグストアやスーパーマーケットでも購入することができます。

訪問栄養指導では、嗜好や状況に合わせて管理栄養士が使用方法をご提案しています。

○ドリンクは甘くて飲みにくい・・・

シリコンカップで凍らせて小さな一口アイスに

★おやつとして手軽に食べやすいです



○甘いものが苦手、たくさんは食べられない・・・

いつも食べているお粥や飲み物にオイルやタンパク質パウダーを混ぜる

★食事を増やさず味を変えることなく栄養アップができます



○嚥下障害がある・・・

とろみ剤を使って飲みやすく、嚥下機能に合わせた商品の紹介

○他にも

料理やおやつに材料として栄養補助食品を使ったレシピ紹介、購入方法の紹介



患者さんのご相談内容やお身体状況に合わせておいしく食べるための工夫と一緒に考えています。気になる方はいつでもご相談ください。

訪問診療のあれこれをラジオ番組で放送中!!

日時 毎月第3木曜日 14:30～(10分程度)

放送局 FM くらしき 82.8MHz パーソナリティ 大谷 利文

「訪問診療とは?」「在宅療養を支える職種は?」「家族の負担は?」

など、在宅医療に関する話を分かりやすくお伝えする番組です!

FMくらしきのホームページでも聴けますので、ぜひ聞いてください!

ゲストとして、つばさクリニックのスタッフ+αが月替わりで登場します!

企画・運営 エフエムくらしき 協賛 つばさクリニック

FM くらしき

※今後の放送予定: 10月21日・11月18日・12月16日

10月21日(木) 【在宅医療のエピソード】 担当: 理事長 中村 幸伸

11月18日(木) 【在宅医療のエピソード】 担当: 医師 滝内 宏樹

12月16日(木) 【在宅での食支援】 つばさ NST チーム